



MEIJI
UNIVERSITY

2026年度版

政治経済学部生 限定プログラム

Programs for Students of the School of Political Science and Economics

あなたの夢の実現、挑戦をサポート！



～「個」を強くし、「教養豊かな専門人」へ!!～

政治経済学部では、学生のスキルアップやキャリア形成などを支援する「学部教育振興プロジェクト」や、学部独自の充実した「国際関連プログラム」など、多様なプログラムを展開し、学生の成長をサポートしています。詳細は、Oh-o!Meijiなどを通して随時ご案内していますので、積極的にチャレンジしてください！



▶ 学部教育振興プロジェクト紹介ページ

1 スキルアップサポート

1 学部主催TOEIC®L&R IPテスト(受験料無料)

留学や就職において英語力のひとつの基準として定着しているTOEIC®について、政治経済学部では、年間複数回、TOEIC®L&R IPテストを主催し、希望者が無料で受験できる環境を整えています。

これらの機会を活用し、定期的に試験を受けることで、自身の現在の英語力をチェックし、実力を高めていくことができます。

また、TOEIC®の成績優秀者は学部長表彰の対象となるほか、対面形式の試験で一定の条件を満たすと、英語科目の単位認定を申請することができます。



2 学部主催TOEFL ITP® テスト(受験料無料)

TOEFL®は主に英語圏への留学における英語力のひとつの基準として用いられている試験です。政治経済学部では春学期、秋学期に各1回、学内でTOEFL ITP®テストを開催しており、希望者は無料で受験できます。

留学を目指す方、自身の英語力を試したい方は、積極的に活用してください。

3 各種外部検定試験の受験料助成

政治経済学部では、ドイツ語検定、フランス語検定、中国語検定、スペイン語検定などの各種語学検定、またニュース時事能力検定、日経テストなどの外部検定試験を受験した場合、一定の条件に基づき、受験料の助成を行っています。この助成制度を利用することで、政治経済学部の学生は年間複数回、所定の検定試験を無料で受験することができます。

また、所定の語学検定に関しては、取得した成績に応じて各外国語科目の単位認定を申請することができます。



4 「明治大学リバティアカデミー講座」・「明大サポート 開講講座」受講料助成

「資格試験受験のための実力を付けたい」「スキルアップを図りたい」「大学の講義科目にはない講座を学びたい」。こうしたニーズにこたえるため、明治大学では、学部における授業以外にも多様な講座を用意しています。政治経済学部では「リバティアカデミー講座」と一部の「明大生限定学内講座（明大サポート）」の受講に対して、一定の条件に基づき受講料の助成を行っており、この制度を利用することで所定の数の講座を無料または割引料金にて受講することができます。

※ 一部の講座は自己負担があります。

※ 助成対象となる講座、助成申請方法は、Oh-o! Meijiでお知らせしています。

5 ウォール・ストリート・ジャーナル(電子版)購読料助成

ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）はダウ・ジョーンズ社が発行する国際的な影響力を持つ経済・ビジネス日刊新聞です。

政治経済学部の学生は、所定の手続きを行いアカウントを作成することで、ウォール・ストリート・ジャーナル（電子版）を、1年間無料で読むことができます。ゼミナール単位での授業における教材や、個人の自習用教材など、様々な目的で活用されています。



2 就職キャリアサポート

1 学部生限定就職支援イベント

学生の就職活動を支援するため、政治経済学部独自のイベントを学内で開催しています。例年、様々な分野で活躍する本学部の卒業生を招いている懇談会では、卒業生ならではの貴重な話を聞くことができるとともに、学生自身が積極的に質問し、就職活動に対する見分を広げ、意識を高める貴重な機会となっています。



企業担当者によるパネルディスカッション

2 低学年向けキャリア育成講座

早期から自身のキャリア形成について意識を高めてもらうため、1・2年生を主なターゲットとした「キャリア育成講座」を開催しています。講師、参加者間で刺激を受け、自身の将来について考える第一歩としてもらえることを期待しています。



3 国際社会におけるキャリア入門講座

国際社会の最前線で活躍中の外部講師を招き、「国際社会で働く」ことについて講演いただく「国際社会におけるキャリア入門講座」を、年間複数回開催しています。講師には、国連機関、政府援助機関、国際NGOなど国際協力関連の仕事についている方を中心に登壇いただいております。それらの職種で活躍するために必要なスキルアップ、キャリアアップの方法などについて話を聞くことができます。

過年度講座テーマ（例）

- ・SDG3の達成に向けて：多様なアクターによるグローバルヘルスへの取り組み
- ・開発協力の公的組織と非営利組織
- ・緊急人道支援～国際緊急援助隊の現場から～
- ・開発コンサルタントへの道



4 起業家養成講座

政治経済学部には、起業して成功を収めた卒業生が大勢います。そういった方々を講師に招き、「起業家養成講座」を年間複数回開催しています。

起業に至るまで、成功に至るまでのプロセスは様々であり、実際に成功を収めている講師の方々に、自身の経験談や学生へのアドバイスなどを語っていただくことで、学生が自身のキャリアを考える上で非常に有意義な学びの機会となっています。

過年度講座テーマ（例）

- ・老舗企業発ITベンチャー企業の創業と地域産業振興の挑戦
- ・若手ベンチャー起業家が語る創業の心得と就業観
- ・スモールビジネスで起業する！～創業支援の現場から伝える起業の実態と実践～
- ・経営コンサルタントから見た起業家・経営者に求められる資質と役割



5 学内3研究所（法制研究所・経理研究所・行政研究所）の在籍料助成

明治大学では、難関資格等の取得を目指す学生向けに、法制研究所・経理研究所・行政研究所の3つの研究所を開設し、各研究所において、明治大学ならではのサポートを提供して、学生の司法試験や公認会計士、国家公務員採用試験合格を支援しています。

政治経済学部では、これらの機関への所属にかかる在籍料を一部助成し、難関試験合格に向けた学生の積極的な学びを支援しています。



3 新入生向けガイドブックの発行

新入生に、政治経済学部での学問・学生生活等についての関心と理解を一段と深めてもらうため、以下の冊子を発行しています。



政経の歩き方

政治経済学部の現役学生が編集した新入生のための「政治経済学部ガイドブック」です。「政治経済学部での大学生活について、現役の学部生による生きた情報をわかりやすく、親しみやすく伝えたい!」をコンセプトに作成しています。



政治経済学部ブックガイド

政治経済学部の教員が新入生に薦める各分野の入門書（政治学・経済学・社会学・国際文化・各種教養分野など）についてまとめ、紹介しています。政治経済学部で「知の世界」に向かって踏み出す学生の一つの道標として編集されたガイドです。

4 ゼミナール活動サポート

政治経済学部では、教養を深めることを目的とし1・2年生を対象とした「教養演習」と、学生が主体となってより高度な学習・研究を行い、担当教員の指導に基づいて2年間一貫したテーマで研究に取り組む、「専門演習」というゼミナールを設置しており、3・4年生の7割以上がゼミに所属しています。

このゼミナールの活動に対する支援として、政治経済学部では、ゼミ単位で行う合宿や、ゼミ単位で作成する卒業論文集の発行について、費用の一部助成を行っています。

5 実習講座の実施

1 地域研究インターンシップ・政策研究インターンシップ

(2026年度・2027年度は「地域研究インターンシップ」の開講となります。)

地域行政学科3年生及び政策学科3年生を対象としたインターンシップ科目を開講しています。履修学生は事前にマナー講習等を受講した上で夏季休暇期間中に自治体・公共部門・地域産業などで実習活動を行います。

2 社会実習(ボランティア活動単位認定制度)

学部が認定する機関（公共部門、民間部門、NPOなど）でのボランティアを通して視野を広げ、企業社会だけでなく、地域社会においても貢献できるスキルを身につけることを目的として、社会実習（ボランティア活動単位認定制度）を開設しています。学生は、予め所定の手続きを行った上で学外機関でのボランティア活動を行い、一定の要件を満たした場合、学部の単位認定がなされます。



6 国際関連プログラム

明治大学では、全世界の270校を超える大学と、留学に関する協定を結んでいます。全学生対象の「大学間協定校」と、政治経済学部生対象の「学部間協定校」に留学が可能です。

大学間・学部間ともに「短期（主に夏季休暇・春季休暇を利用）」と「中長期（1学期～1学年間）」に分かれています。中長期プログラムには、留学先の授業料が免除になる「交換型」と、留学先の授業料が自己負担になる「授業料負担型」の2種類があります。



▶ 大学間協定紹介ページ



▶ 学部間協定紹介ページ

1 政治経済学部生限定の留学プログラム

■ 短期プログラム

国・地域	大学名	種類	時期
米国	ノースイースタン大学	引率あり	夏季
タイ	シーナカリンウィロート大学ほか		
英国	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院（SOAS）、 オックスフォード大学レディー・マーガレット・ホール（LMH）	引率なし	
ベトナム	ベトナム・ディスカバリープログラム（ベトナム国家大学）		
オーストラリア	西シドニー大学	引率あり	

■ 中長期プログラム

国・地域	大学名	種類	期間
タイ	シーナカリンウィロート大学、チュラロンコン大学、タマサート大学	交換型 (授業料免除)	1学期or 1学年間
シンガポール	南洋理工大学		
インドネシア	ペトラクリスチャン大学		
ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学、ベトナム国家大学 ハノイ人文社会科学大学、ハノイ貿易大学、ホーチミン市経済大学		
韓国	延世大学		
中国	北京大学		
台湾	国立台湾大学、国立政治大学		
オランダ	ロッテルダム応用科学大学		
フィンランド	東フィンランド大学		
ドイツ	ノイウルム応用科学大学		
英国	ロンドンスクール オブ エコノミクス アンド ポリティカル サイエンス（LSE）サマースクール	授業料負担型	最長 9週間
タイ	タマサート大学	ダブルディグリー 授業料負担型	4学期以上



2 トップスクールセミナー

世界各国の大学から招いた教員・研究者による授業を「トップスクールセミナー」と呼んでいます。海外の大学で行われる講義を、現地のスタイルのまま、英語で実施します。

授業はすべて英語で行われるので、日本にいながら留学しているような体験が得られます。また、英語「を」学ぶのではなく、専門分野を英語「で」学ぶことで、興味や視野をより広げることができます。

通常の履修登録で受講でき、特別な費用はかかりません。

こんな学生におすすめ

- ・ 留学に興味があるけれど、いきなり海外生活をするのは不安
- ・ 海外の大学の授業を受けてみたいけれど、長期の留学は経済的に難しい
- ・ 英語ネイティブ教員の授業を、たくさん受講したい

3 The Supporters（国際交流学生委員会）

The Supportersは、学生が主体となって国際交流活動をサポートする委員会です。主に、学部が主催する国際交流イベントの企画運営などを行います。活動メンバーの募集は毎年4月に行います。

活動のメリット

留学生との交流を通して、グローバルなコミュニケーション力を培い、異文化理解を深めることができます。The Supportersでの活動経験をきっかけに海外への関心が高まり、留学に挑戦した学生も多くいます。



短期受入プログラムにおける明治大学セミナーハウスの合宿では、留学生と寝食を共にして交流を深めます。

4 ACE（英語実践力特別強化）プログラム

ACE = Advanced Communicative English

グローバル社会で通用する実践的な語学力を強化する、学部独自の英語プログラム。少人数体制で、一人ひとりに寄り添った授業を行います。コミュニケーションスキルの習得や留学準備はもちろん、海外ドラマ、映画、メディア等を活用した社会事情や文化的背景を学ぶ授業など、多種多様なアクティビティを用意しています。

授業は5タイプ

詳細は、Oh-o! Meiji のグループ から、各学年 ⇒ ACE ガイダンス をご参照ください。

ACE Content-based Study

歴史、文化、政治など、専門的な教養科目を英語で学びます。

ACE General Communication Skills

英語で考え、話し、発表するスキルを磨きます。

ACE Exam Skills

TOEIC（就職活動で重視）、TOEFL（留学要件で重視）対策をします。

ACE Presentation Skills

プレゼンテーションや質疑応答に対応できる英語力を養います。

ACE Academic Training

海外大学で要求されるレベルの読み書き能力を習得します。

グローバルキャリア形成(GCD)プログラム

1 GCDプログラムとは

(世界で通用する力を身につけるプログラム)

- ・希望者の中から一定の基準を満たした学生を毎年50名程度プログラム参加者として選抜。
- ・所属学科のカリキュラムに応じた科目を自由に履修しながら、グローバル社会で通用する実践的語学力・コミュニケーション能力、国際社会に関する基礎知識の習得を目指す。
- ・2年次終了時、一定の条件を満たした学生は支援金(10万円)を受給可能。



▶ [GCDプログラム紹介ページ](#)

2 参加基準

1年次

参加希望者の中から、入学時に行われるTOEICのスコアが高い順から30名選抜します。それに加えて、右図の語学基準のうちいずれかを満たす場合、参加できます。

2年次

右図の語学基準を満たし、かつGPAが3.0以上である場合、参加できます。

言語	基準
英語	1年次 TOEFL iBT 68 (2026年1月20日以前受験) TOEFL iBT 4 (2026年1月21日以降受験) IELTS6.0以上
	2年次 TOEIC750 TOEFL iBT 83 (2026年1月20日以前受験) TOEFL iBT 4.5 (2026年1月21日以降受験) IELTS6.0以上
ドイツ語	Goethe-InstitutでGoethe-ZertifikatB1以上の級において総合点6割以上
フランス語	DELF・DALFでDELF B1以上の級において合格
中国語	HSKで筆記試験3級以上の級において総合点6割以上、および口頭試験中級以上の級において6割以上
スペイン語	DELEでB1級以上の級において合格

3 修了要件

修了要件を満たした学生に対して修了証を授与します。修了要件Aを満たした場合は「GCD優秀修了証」、修了要件Bを満たした場合は「GCD修了証」を授与し、GCD優秀修了証受賞者は、政治経済学部学生顕彰表彰の対象とします。

プログラムの
修了要件を満たした学生に
修了証を授与

修了要件A 以下の4点を満たすこと

- TOEIC 930、TOEFL iBT 105 (2026年1月20日以前受験)、TOEFL iBT 5.5 (2026年1月21日以降受験)、IELTS 7.0のいずれかを満たすこと
- GPAスコア 3.0以上
- プログラム科目を34単位以上修得していること
- 認定校・協定校等への留学または国際ボランティアなど、GCDプログラム運営委員会の認めるその他の国際交流活動への参加*

*ダブルディグリー・デュアルディグリーは、学内選考を通過し、留学先からの受け入れ許可を取得した時点で「参加」とみなします。

修了要件B 以下の3点を満たすこと

- TOEIC 835、TOEFL iBT 95 (2026年1月20日以前受験)、TOEFL iBT 5 (2026年1月21日以降受験)、IELTS 6.5のいずれかを満たすこと
- GPAスコア 3.0以上
- プログラム科目を34単位以上修得していること

GCDプログラム科目と修了に必要な単位数

科目区分	科目	修了要件単位数
外国語科目	ACE Academic Training, ACE Presentation Skills ACE Content-based Study, ACE General Communication Skills, ACE Exam Skills ※1 ACE Academic Training の単位を2単位以上修得すること ※2 ACE Presentation Skillsの単位を1単位以上修得すること ※3 すべて、SまたはAの評価で修得すること	6単位
	ドイツ語IV、フランス語IV、中国語IV、スペイン語IV	2単位
外国語実施科目	英語による講義科目(国際教育プログラム科目・大学院科目も含む) Top School Seminar科目、外国語で実施されている教養演習 ※1 教養演習は4単位まで	8単位
国際関係科目	留学による認定科目、グローバル人材育成プログラム科目、海外留学演習、国際政治系および国際経済系パッケージ科目、国際地域・文化論コース科目、その他教授会で認定した科目	18単位
合計		34単位